

平成24年度第9回公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日 時：平成24年12月10日（月）10時00分～11時55分

場 所：熊本県立大学大会議室

出席：学長	古賀 実
副学長	半藤 英明
事務局長	益田 和弘
文学部長	山田 俊
環境共生学部長	堤 裕昭
総合管理学部長	松尾 隆
地域連携センター長	松添 直隆
学術情報メディアセンター長	三浦 章
環境共生学研究科長	北原 昭男
熊本県公立高等学校長会会長	森塚 利徳
熊本日日新聞社新聞博物館長	平野 有益
昭和女子大学大学院特任教授	渡辺 満利子

事務局：田代事務局次長、元島教務入試課長、安達学生支援課長、福永総務課長、阪本企画調整室長、田中学術情報メディアセンター事務長、前田地域連携センター事務長、教務入試課阿蘇品班長、同課西本班長

1 開会（進行：田代次長）

2 学長挨拶

3 議事（議長：古賀学長）

（1）審議事項

① 平成25年度入学者選抜における合格者の決定について

事務局教務入試課から、資料1-1に基づき、「試験は12月2日に実施し、推薦入試150名、農業・林業・水産科推薦入試2名、“くまもと夢実現”推薦入試1名、社会人入試5名の志願者があり、全員が受験した。審議内容の詳細については、資料1-2に基づき、各学部長及び副学長から説明していただく。」との説明があった。

1) 推薦入試

山田文学部長から、「日本語日本文学科は、募集人員5名に対し、受験者8名。小論文と面接を実施。上位5名までを合格としたい。英語英米文学科は、募集人員7名に対し、受験者18名。小論文と面接を実施。上位7名までを合格としたい。」との説明があった。

堤環境共生学部長から、「環境資源学科は、募集人員5名に対し、受験者9名。小論文と面接を実施。5番目に同点者がいるため、上位6名までを合格としたい。居住環境学科は、募集人員4名に対し、受験者7名。小論文と面接を実施。上位4名までを合格としたい。食健康科学科は、募集人員4名に対し、受験者26名。小論文と面接を実施。3番目に同点者が3名いるため、上位5名までを合格としたい。」との説明があった。

松尾総合管理学部長から、「総合管理学科は、募集人員50名に対し、受験者82名。小論文と面接を実施。上位50名までを合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

## 2) 農業・林業・水産科推薦入試

堤環境共生学部長から、「若干名の募集に対し、受験者2名。小論文と面接を実施。2名とも合格基準に達しており合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

## 3) “くまもと夢実現” 推薦入試

半藤副学長から「募集人員2名以内に対し、1名が受験。小論文と面接を実施。得点が合格基準に達しており合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

## 4) 社会人入試

山田文学部長から、「若干名の募集に対し、英語英米文学科に1名が受験。英語と面接を実施。英語の得点が低く、授業についていくことは困難と判断。不合格としたい。」との説明があった。

堤環境共生学部長から「若干名の募集に対し、食健康科学科に2名が受験。英語、化学生物、小論文、面接を実施。うち1名は、小論文、面接を受験せず途中棄権。残り1名は、英語、化学生物の得点が低く、授業についていくことは困難と判断。不合格としたい。」との説明があった。

松尾総合管理学部長から、「若干名の募集に対し、2名が受験。英語、小論文、面接を実施。得点が合格基準に達している1名を合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

## ② 平成25年度授業暦について

事務局教務入試課から、資料2に基づき、「基本的な考え方として、①前後期各15回授業日（試験を含まない）を設定、②7月15日（月）海の日、11月4日（月）文化の日振替休日の一部祝休日における授業実施、③9月30日（月）後期授業開始、④補講日を各学期4日間設定（原則第4土曜日）、⑤試験期間を8日間設定して

いる。本日この案を承認いただければ、決裁のうえ12月中に学生及び教員に周知する。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

### ③ 教員採用に係る枠取りについて

#### 1) 食健康科学分野

事務局総務課から、資料3に基づき、「環境共生学部食健康科学科における食健康科学分野を専門とする助教または助手1名の枠取りである。枠取りの理由は、前任者の退職に伴う補充で、平成25年4月1日の採用を予定している。」との説明があり、続いて、堤環境共生学部長から、「管理栄養士養成にかかわる科目の担当であり、現職教員の退職後、間が開くことなく採用をお願いしたい。管理栄養士免許を有する者で、管理栄養士の教育に熱意をもって取り組む意欲のあることなどを条件とし、助教または助手としての採用を希望する。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

### ④ 教員の採用について

事務局総務課から、資料4-1に基づき、環境共生学部及び総合管理学部の教員採用について、これまでの審査の経緯等について説明があり、「審議内容の詳細については、資料4-3～4-6に基づき、各学部長から説明していただく。」との説明があった。

#### 1) 地域計画学

堤環境共生学部長から、資料4-3に基づき、「地域計画学採用人事について、公募に対して18名の応募があった。学部内で選考手続きを進め候補者を選定。平成25年4月1日付けで准教授として採用していただきたい。」との説明があった。続いて、全学資格審査委員会議長である半藤委員より、「地域計画学の採用予定者は、准教授での採用が適当であると全学資格審査委員会において判定した。」との報告があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

#### 2) 公衆栄養学

堤環境共生学部長から、資料4-4に基づき、「公衆栄養学採用人事について、公募に対して2名の応募があった。学部内で選考手続きを進め候補者を選定。平成25年4月1日付けで講師として採用していただきたい。」との説明があった。続いて、全学資格審査委員会議長である半藤委員より、「公衆栄養学の採用予定者は、講師での採用が適当であると全学資格審査委員会において判定した。」との報告があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

### 3) 計量経済学

松尾総合管理学部長から、資料4-5に基づき、「計量経済学採用人事について、公募を行い、学部内で選考手続きを進め候補者を選定。平成25年4月1日付けで講師として採用していただきたい。」との説明があった。続いて、全学資格審査委員会議長である半藤委員より、「計量経済学の採用予定者は、講師での採用が適当であると全学資格審査委員会において判定した。」との報告があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

### 4) マーケティング

松尾総合管理学部長から、資料4-6に基づき、「マーケティングを専門分野とする採用人事について、公募を行い、学部内で選考手続きを進め候補者を選定。平成25年4月1日付けで教授として採用していただきたい。」との説明があった。続いて、全学資格審査委員会議長である半藤委員より、「マーケティングを専門分野とする採用予定者は、教授での採用が適当であると全学資格審査委員会において判定した。」との報告があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

## ⑤ 研究支援組織の整備及び特任教授の任用について

古賀学長から、資料5-1に基づき、「地域連携センターを本学の研究推進（支援）を担う組織として明確に位置づけるため、名称を改称したい。また、センターの取り組み強化の一環として、特任教授を任用し、本学が地域の知の拠点として地域に即した教育研究の展開を強化していくためのCOC（Center of Community）事業の組み立てと推進を図るとともに、CPDの拡充や、包括協定先との連携を拡大していく業務について、学内の各機関・学部及び本学と地域社会を結びつける総合的調整・事業推進に尽力していただくことにしたい。」との説明があり、引き続き資料5-2に基づき、地域連携センター長から推薦のあった特任教授推薦書により、経歴及び研究業績について説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

## (2) 報告事項

### ① 非常勤講師の採用について

事務局教務入試課から、資料6に基づき、「環境共生学部居住環境学科の地域計画論については、同科目を担当していた教員が退任のため、後任教員の採用手続きを進めていたが、条件に合う応募者がおらず、今年度は非常勤講師による集中講義を実施することとし、12月24日付けで採用を決定した。」との報告があった。

② 平成25年度年度計画の作成について

事務局企画調整室から、資料7に基づき、「地方独立行政法人は、中期目標の達成に向けて、毎事業年度の開始前に中期計画に基づくその事業年度の年度計画を定め、設立団体の長に届ける必要がある。そのため、平成24年度の実施状況を踏まえ、平成25年度の年度計画を3月末までに策定し、県に届け出る予定。」との報告があった。

4 その他

次回日程 第10回 平成25年1月21日（月）午後1時～ 本部棟2階大会議室

5 閉会